

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



消灯の一瞬どくだみ句ひけり
 秋惜しむ流るる風の透き通る
 部屋に舞ふ神の化身か糸とんぼ
 偕老をじっくり煮込む大根かな
 句を胸に永遠の旅立ち冬ざるる
 暴風の過ぎて美はし十三夜
 スカイツリーはるかな富士の白き嶺
 冬囲い職人技の縄目かな
 天と地を斜めに結び初吹雪

仲町 徳井 隆男
 南桜町 宮腰 幸子
 元町 竹内スミエ
 仲町 玉野 研一
 藤本町 池田 良子
 西岡町 渋谷みさ子
 西町 金澤 頼子
 元町 印牧 安子
 緑町 齋藤 嘉子

大根のすだれ懐かし日和かな
 裸木となりて樹齢をいつわらず
 田や畑に人影見え冬浅し
 張りつめた風の気配や冬立つ日
 小春日やオカリナの音澄み渡る
 残り実のまだ赤赤と今朝の冬
 服着るも一枚ふえる今朝の冬
 長ぐつを新調し待つ銀世界
 立冬の便りひらひら落ちにけり
 この色が好きで咲かせる小菊かな
 今朝の冬母屋に運ぶ樽の数
 梢から葉のこぼれ来て冬に入る
 ちゃんちゃんこ妣の形見をリフト
 ームして
 母の編む手袋句う親の愛

仲町 坂部 和子
 元町 西崎 弘子
 屯田町 古屋 克江
 仲町 梅基 文子
 旭町 大河 博子
 旭町 赤赤と今朝の冬
 旭町 大河内清枝
 西町 岸波 君江
 藤本町 鈴木ゆき子
 西町 高井 孝子
 東町 高草木喜代子
 西岡町 高瀬久美子
 西町 文梨 清子
 旭町 大河 茂



『ゆうぐれ』

コリ・シヨルヴィッツ作
 さくまゆみこ訳
 (あおなろ書房)

冬の夕暮れは早く、日が落ちると夏よりも暗くさみしく感じます。でも、クリスマス時期になると、夜が近づくにつれイルミネーションが輝きはじめて、夜の街がとてもきれいで華やかになりますね。



information 絵本の館から

新着図書

- ・うまいぞ！シカ肉 (松井賢一ほか 著)
- ・ユマニチュード 認知症ケア最前線 (NHK 取材班 著)
- ・幻の「長くつ下のピッピ」 (高畑勲ほか 著) ほか

今月のおすすめ絵本



『こけしのゆめ』

フマニキー松本さく
 いぬんこ絵
 (学研)

こけしの姉妹、「しけこ」と「こけみ」は、お土産屋さんで売れ残って何十年。退屈そうに見えますが、窓から道行く人の夢を覗いて楽しんでいました。懐かしい色合いで、こけしの魅力いっぱいの絵本です。